

コース名		科目名			対象学年			
良医の礎		医療人類学（基礎編）			1			
開講学期		科目責任者		副責任者				
2 学期		西松 伸一郎		飯田 淳子				
目的								
<p>文化的・社会的文脈のなかで人びとの言動や関係性を理解するための基礎的な知識と、質的記述的研究にもとづく人間理解の方法を学ぶ。臨床実践に社会科学の知見を生かすことができるよう、健康・病気・死とそれらをめぐる医療に関する文化人類学・社会学（主に医療人類学・医療社会学）の視点・方法・理論について、理解を深める。</p>								
授業到達目標								
<p>1 文化人類学・社会学（主に医療人類学・医療社会学）の基本的な視点・方法・理論を用いることができる。 2 人の言動の意味をその人の人生史・生活史や社会関係の文脈の中において検討することができる。 3 患者やその家族、生活環境、地域社会、そして病院等の組織等について理解し共有するために、エスノグラフィ等の質的記述的研究の基本的な視点を用いることができる。 4 医療に関する諸事象を社会の諸制度との関わりのなかで捉え、構造的に説明できる。 5 文化人類学・社会学（主に医療人類学・医療社会学）の理論や概念を用いて、患者の行動や医療に関する社会的な諸事象を説明することができる。 6 具体的な医療や日常生活の現場において、文化的・社会的な多様性（ジェンダー、家庭環境、経済状況、地域性等）を考慮に入れて医療をめぐる諸問題を発見し、対処法を考案できる。 7 自身が生活を通じて身につけた視点や思考・行動様式の傾向を相対化するとともに、他の専門職、患者・利用者、その家族や地域の人々等の視点の違いを説明できる。 8 人びとの生活の場において健康・病気・死とそれらをめぐる医療がどのようにとらえられているかを探索することを通じて、予防医学や健康維持増進、在宅療養・入院・施設入所等の関係について総合的に考察できる。 9 国際保健医療協力の現場や、外国にルーツのある人を対象とした医療の現場における文化的な摩擦や経済的格差、制度的差異に基づく諸事象について、文脈に応じた課題を設定し、解決案を提案できる。</p>								
授業計画								
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目
1	9/13	金	3	講義	飯田	非常勤/医福大	医療人類学とは	PR-02-02, GE-02-02-04 GE-04-02-01, GE-04-02-02 GE-04-02-03, SO-06-01-01 SO-06-01-02, SO-06-01-03
2	9/20	金	3	講義	飯田	非常勤/医福大	外国にルーツのある患者と向き合う	PR-02-02, GE-02-01-02 GE-04-02-01, GE-04-02-02 GE-04-02-03, SO-06-01-01 SO-06-01-02, SO-06-01-03
3	9/27	金	3	講義	飯田	非常勤/医福大	生殖医療とジェンダー	PR-02-02, GE-04-02-01 GE-04-02-03, SO-04-02 SO-06-01-01, SO-06-01-03
4	10/ 4	金	3	講義	飯田	非常勤/医福大	人間的苦悩とケア	PR-02-02, GE-04-02-01 GE-04-02-02, GE-04-02-03
5	10/11	金	3	講義	飯田	非常勤/医福大	多職種協働と文化	PR-02-02, IP-02-03-02 SO-06-01-03
6	10/25	金	3	講義	飯田	非常勤/医福大	リスクと意思決定	PR-02-02, GE-02-04-01 GE-04-02-02, GE-04-02-03
7	11/ 1	金	3	講義	飯田	非常勤/医福大	生活困難への対処	PR-02-02, GE-02-02-05 GE-02-04-01, GE-02-04-02
8	11/ 6	水	4	講義	飯田	非常勤/医福大	国際保健医療協力	PR-02-02, GE-02-01-01 GE-04-01-01, GE-04-02-03 SO-04-02, SO-05-02-01 SO-06-01-02, SO-06-01-03
	11/13	水	4	講義末試験			講義末試験	
9	11/13	水	5	講義	飯田	非常勤/医福大	講義末試験の解説	
評価方法								
<p>[講義末試験] 50%（授業の理解度をはかる。） [その他] 50%（事前・事後・授業中の課題により授業への参加度をはかる。） [評価方法] 多肢選択試験、論述・記述試験、プレゼンテーション評価、その他（事前・事後・授業中の課題）</p>								
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて								
講義末試験後には解説講義を行う。								

教科書
ISBN-9784779515767, 医師・医学生のための人類学・社会学：臨床症例/事例で学ぶ, 飯田淳子, 錦織宏編, ナカニシヤ出版, 2021
参考書
授業中に提示する。
準備学習（予習・復習等）
各回の授業前にケース検討課題を提出し、授業後に事後課題を提出すること。また、授業中に紹介する文献を用いて復習をする他、日ごろから新聞、インターネット、書物、テレビ、映画などにより、社会的事象に対する関心を高めておくことが望まれる。事前・事後課題には30分～1時間程度ずつの時間を要する。
講義についての注意事項
本講義は、具体的な知識を暗記するよりも、考え方を身につけることを目的としています。そのため、各回に医療現場の事例をとりあげ、学生間でディスカッションをおこなった後に、その事例を医療人類学・社会学的視点から解説する講義を行います。自分で考え、調べ、他の人と議論することを通じて学んでいきましょう。積極的に意見を言い、質問をしてください。
昨年度からの変更点・改善項目
新コアカリに合わせて授業内容とコアカリ項目を一部変更した。また、小テストをなくし、授業中の課題を評価対象に加えた。
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について
この科目は、主としてコンピテンス・コンピテンシーの「個人の尊厳を尊重し、相手の感情や社会背景に共感を示すことができる」と「地域医療の中でのグローバル化を把握し、非日本語母語話者に対応できる」の達成に向けて設定されている。また、本科目履修には入学時において、地域社会で生活する人々の健康と福祉に貢献する強い意志と情熱を有し、他者への共感性と協調性、基本的なコミュニケーション能力を持って全人的医療を志す意欲的な学生が望ましい。本科目を修めることにより、社会・地域に貢献できる医師になるための基本的な資質を身につける。医療人類学は、医療に関連する行動科学・社会科学の一分野である。2年次に学ぶ「人の行動と心理」では、行動科学・社会科学の別の視点を習得する。また、本科目では5年次の「診療の基本：医療人類学（応用編）」の基礎となる知識・思考法を修得する。
ナンバリング
GLMA109